

## 復興補助金で膨張する市町村財政 ハコモノ増加で懸念される逼迫リスク

伊藤久雄（認定NPO法人まちぼっと理事）

「政経東北」という月刊誌がある（株式会社東邦出版、福島県福島市）が。その5月号に標記に記事が掲載された。そこで、3月号から6月号までの震災関連の記事を追ってみた。

### ◇ 3月号

- ・誰が「被災地医療」を再生するのか 高野病院問題は氷山の一角
- ・双葉町「復興事業」に薄い反応の町民 出遅れ感が否めない廃炉関連施設誘致
- ・不可能が浮き彫りになった廃炉 現実直視し工程表を刷新せよ
- ・浪江町避難解除住民懇談会で見えた4つの不安 解消されなかった国への不信感
- ・甲状腺検査「同意取得」の弊害 "暗部"に迫る書籍『フクシマ6年後 消されゆく被害』
- ・資源エネ庁職員が富岡移住宣言 避難住民の「安全立証体现」要請に応答

### ◇ 4月号

- ・拙速な避難解除に潜むリスク 地方自治の専門家が嘆く「薄い県の存在感」
- ・松本幸英檜葉町長の気負いが生んだ「帰町職員優先昇任」発言 問題は有事の際に役場が機能するか
- ・富岡町・避難解除直後に町長選の巡り合わせ 意外に多い「戻らないから関心なし」
- ・再選の伊澤史朗双葉町長が直面する課題 長期避難が復興の妨げに

### ◇ 5月号

- ・最大70兆円かかる事故後処理費用 甘すぎた東電改革委の試算
- ・国道114号「不通」の暗影 ハンデを背負う葛尾村と川俣町山木屋地区
- ・復興相失言で見えた国の怠慢 手薄な自主避難支援と"使えない"復興庁
- ・復興補助金で膨張する市町村財政 ハコモノ増加で懸念される逼迫リスク

### ◇ 6月号

- ・浪江町隠滅された廃材不法投棄 工事費"ピンハネ"に苦しむ業者が告発
- ・復興需要で"身軽"になった建設業界の先行き 県の「建設業振興プラン」を検証
- ・富岡町3・11を語る会の取り組み 避難指示解除でツアー需要が急増
- ・不確定情報が飛び交った山火事 安全対策に万全を尽くせ!!

さて、5月号に掲載された「復興補助金で膨張する市町村財政 ハコモノ増加で懸念される逼迫リスク」である。

まず、本誌4月号に掲載された「拙速な避難指示解除に潜むリスク」に今井照福島大学元教授（現地方自治総合研究所主任研究員）の懸念が記事になっている。

- ・先行事例を見ると、避難指示が解除されても戻る住民は1割程度である。
- ・1割しか戻らないんだから、1割分の投資さえすれば行政は問題なく回ります。ところ

が現実には、どの市町村も競うようにさまざまな建物をつくっており、それが 9 割の住民の戻らない理由になっているのです。

- ・もっと問題なのは、そうやってつくられた建物が将来債務となって行政に重くのしかかってくることです。言うまでもなく、建物はつくれば維持管理経費がかかる。1割しか戻らないところに過大な投資をすれば、財政が破綻することは目に見えています。
- ・いまは国から復興名目の予算がじゃんじゃんおりてくるから、市町村の職員はその予算消化に明け暮れている。復興名目の予算が将来的な財政破綻を招くのだとすれば、こんな皮肉なことはない。

5月号の「復興補助金で膨張する市町村財政」では、いわき明星大教養学部の和足憲明助教の指摘を掲載している（全文は別紙参照）

第一に、現在の予算規模は復興のための一時的なものであり、復興が一段落すれば、国や県からの財源に依存したまま、現在の予算規模を維持することはできないということです。だからこそ、財政当局には復興という短期的視点のみでなく、地域の将来的財政運営を見通すという長期的視点が求められます。

第二に、歳入をみると、補助金の割合が高まり、地方税の割合が急激に下がっています。今後、行政サービスを提供していく上で、自前の財源が少ないことが制約となる可能性があります。当面、国や県からの補助金に頼ることになっても、自前の財源確保策は検討しておく必要があると思います。

そして本誌は最後に次のように締めくくっている。

『市町村の動きを見ていると実質公債費比率などの財政指標が改善していることを自分たちの”手柄“として、新たなハコモノを整備する際の免罪符にする可能性をある。その結果、行政サービスの低下や住民の負担増につながらないように、住民自身がチェックしていくべきだ。』

『「国からの財源」とう誘惑に負けず、人口規模に見合った財政運営をしていけるかどうか、県内市町村の行政運営のあり方もポスト復興バブルを見据えたものに変えていかなければならない。』

私はこの間、大熊町や双葉町などの帰還困難区域の多い自治体を中心に財政問題などを論じてきた（以下の参考資料のとおり）。本稿で紹介した「政経東北」の記事は、福島県内の全市町村の財政問題などを論じている。その意味で、今後の復興と財政問題について考える時、大いに参考になるものである。

<参考>

財政状況からみた福島県双葉郡5町の現状と課題（2017年4月）

<http://machi-pot.org/modules/project/uploads/20170409.pdf>

「復興交付金」は誰のためにあるのかー福島県原発被災自治体の財政問題（2016年4月）